

伊万里 市議会だより

第44号

平成25年
(2013年)

1月



伊万里湾大橋 4車線化 平成26年度完成予定



伊万里港へ設置されるガントリークレーン
※写真はイメージ



10周年を迎えた
伊万里駅前大通りイルミネーション



市民の方が描かれた「恵比寿さん」

12月補正額：7億5,099万円 予算総額：222億6,864万円 (対前年度同期 -1億6,836万円、-0.8%)

★平成25年第1回定例会は3月1日(金)開会予定です。

平成24年伊万里市議会第4回定例会
会期日程

12月

12月3日～20日 18日間
開議時刻 午前10時

日	種別	内容
3(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案 25件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
5(水)	本会議	議案等に対する質疑
6(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
7(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致)
10(月)	休会	特別委員会(防災・環境施設)
11(火)	本会議	一般市政に対する質問
12(水)	本会議	一般市政に対する質問
13(木)	本会議	一般市政に対する質問
14(金)	休会	常任委員会
17(月)	休会	常任委員会
18(火)	休会	正副委員長会
20(木)	本会議	常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

ホットコーナー

～輝くまちには 福来たる!!～

第10回
輝け!! イマリフェスタ
開催中

毎年、伊万里駅周辺を
賑やかに彩るイルミネーション。
今年の冬もブルーの輝きが
人々を魅了しています。
平成15年、8本の木(2万球)から
スタートし、現在は65本(7万球)とない
より魅力的なものへ…
機会を見つけ、是非足をお運び下さい。

★期間

2013年2月14日迄
(点灯時間 17時～23時)

★場所

伊万里駅前大通り～駅通り商店街

★主催

伊万里商工会議所青年部 (YEG)



お知らせ

新年をお健やかに
お迎えのこととお慶
び申し上げます。
議員は年賀状など
の時候の挨拶状も、
頂いた年賀状に対し
て表裏とも自筆で書
いたもの以外は禁止
されています。
皆様のご理解をお
願い申し上げます。



国民健康保険税率の改定について

今議会において国民健康保険税（国保税）の税率を平均7.3%増とする改定案が提案されました。委員会審査においても慎重な審議と活発な質疑がなされた後、意見要望を附して可決し、本会議においても全員一致で可決されました。

伊万里市の保険事業の現状を見ると、一人あたりの医療費の伸びはH21年度5.2%と高い伸びを示し、又無所得や軽減世帯の割合（47.5%）も増加傾向にあり、総合的に判断しても厳しい選択をせざるを得ません。

社会情勢の厳しい中での国民皆保険の持続の在り方を、共に考えていきましょう。

国民健康保険とは

民間のサラリーマン（被用者）や一般の公務員、後期高齢者医療制度に移行する75歳以上の方などを除く住民を対象。その加入者から徴収した保険税と国庫負担金等の収入によって、保険加入者の疾病、負傷、出産または死亡時に保険給付を行うもの。保険給付を行う事業者を「保険者」といい、主に地方公共団体が運営にあたる。

伊万里市内の加入者と保険給付の状況

	H20年	H23年
被保険者数	16,554人(28.4%)	15,512人(27.0%)
一人当たりの給付	約24万	約27万
単年度収支	△23,449万円	720万円
累積額	△46,728万円	△69,803万円

※住民基本台帳人口に対するおおよその比率

県内10市の税額の比較

	H24年度 税額	順位	H25年度 予想税額	順位
鹿島市	511,300	1	511,300	1
鳥栖市	493,000	2	499,000	2
唐津市	484,200	3	484,200	3
神埼市	468,200	4	468,200	5
嬉野市	437,000	5	446,700	8
多久市	429,800	6	429,800	9
武雄市	421,700	7	476,000	4
伊万里市	421,100	8	451,800	7
小城市	416,000	9	457,900	6
佐賀市	405,100	10	(改定予定)	—

※40歳以上の夫婦と子供2人（世帯の総所得金額233万円）のケース

国保運営協議会からの答申の附帯意見

①累積赤字の解消

平成23年度までの累積赤字が698,037千円と平成23年度国民健康保険特別会計決算額の1割を超えており、看過できない状況となっている。

国民健康保険の県広域化が予定されており、保険者として、一般会計からの基金積み立てなどの方策を講じることにより、計画的な累積赤字の解消に努めること。

②国民健康保険税収率のなお一層の向上

公平な税負担と国民健康保険財政の健全化

を図るために、保険税の徴収と滞納整理のなお一層の強化に努め、現年課税分の収納率が、佐賀県10市平均以上となるよう努めること。

③国への財政措置の拡充要望

少子高齢化等による人口構成や雇用基盤の変化など社会保障制度を支える社会経済情勢の大きな変化により、国民健康保険事業は大変厳しい事業運営を余儀なくされている。

国民健康保険事業の安定的な運営のため、国庫負担割合の引き上げ等により財政措置の拡充を図るよう、国に強く要望されたい。

下水道料金が改正されます

下水道は、文化的で快適な生活環境と自然環境を守るため伊万里市でも昭和63年から供用開始しています。

現在まで、普及率約50%に達したところですが、25年を経過し浄化センターや下水道管の老朽化で継続的な更新工事が必要となります。

このままで推移しますと平成29年には約3億を超える赤字が見込まれる事から、やむなく料金改定を行うものです。

もう一つの理由としては、下水道未整備地区においては、合併浄化槽や簡易水洗、汲み取り方式のいずれかですが、合併浄化槽はその維持管理費が下水道よりはるかに高額であり、加えて、下水道会計に一般財源からの繰り入れが7億近くある以上、下水道を使用しない世帯との不公平感を少なくする意味においても改定やむなしと決定したところです。

改定単価表

区 分		現 行	改定後	引上額	引上率	
一 般 汚 水	基本料金5㎡まで	1,050円	1,150円	100円	9.52%	
	基本料金10㎡まで	1,250円	1,370円	120円	9.60%	
	超過 料金	10㎡を超え 20㎡までの部分	160円	180円	20円	12.50%
		20㎡を超え 30㎡までの部分	200円	210円	10円	5.00%
		30㎡を超え 50㎡までの部分	220円	230円	10円	4.55%
	50㎡を超える部分	235円		据置き		
浴場用汚水	1㎡につき	30円		据置き		

上記の表より算定した額に5%を乗じて得た額が使用料となります。(10円未満切り捨て)

特集
下水道料金が改正されます

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、一般議案2件、24年度一般会計補正予算について、2日間の審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

○ 条例改正議案では、「暴力団排除条例の一部を改正する条例」については、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律の改正に伴い、引用する条文を整理するものです。

○ 一般議案では、「字の区域の変更」地籍調査事業の実施に伴い、黒川町の字の区域を変更されたので承認する。

専決処分承認(平成24年度一般会計補正予算(第7号)については、平成24年12月16日に実施された衆議院議員選挙に要する経費を専決処分されたので承認した。

行政視察報告(10月1日~4日)

10月1日~4日の日程での行政視察を行いましたので報告いたします。

○滋賀県長浜市

- ・県立高校再編問題の取り組み
- ・デマンドタクシー

市内中学生の15%が市外の高校に進学しており、学年の8クラス以下の高校が高校再編の対象になっており、この問題を市民レベルで動いているのは、滋賀県では長浜市だけである。

デマンドタクシーは、セダン型の5人乗りを利用して事業者が対応し、路線バスを補完するための取り組みである。

○福井県敦賀市

- ・日本海側拠点港指定の取り組み
- ・原子力防災等の取り組み

RORO船は価格的には高いが、スピードが速いため、利用が多い、埠頭の施設整備もいらないので推進し、コンテナ貨物取扱量は、年々増加しておる。課題としては、近隣の石川・富山県と比較すると地元港湾の利用割合が低い。

市内のほとんどが、美浜原発の10キロ圏

○ 予算議案の主なものでは、「井手口川ダム建設促進事業」の井手口川ダム建設に伴うダム周辺整備の一環として、地元・市・県の覚書に基づいて、土捨場用地を取得する。

○ 現地調査は、市民センターの維持管理状況の現地調査をしました。年次計画に基づき、適切な維持管理がなされていました。

○ 救助工作車が配置

12月10日に消防本部の最新の資機材を搭載した救助工作車が配置されました。



救助工作車

内で、避難する場合の放射性物質が拡散する方向の担保としては、スピーディーやモニタリングポストの情報などで決定されている。原発立地自治体ということで、交付金の財源で原子力防災等の施策が講じられている。

○京都府京都市

市民防災センター

子どもの時から災害に対する教育をするための施設として活用され、体験コーナーの施設があり、それぞれのコーナーには、説明員が配置されている。

○大阪府和泉市

防災・危機管理

防災力の意識の向上の取り組みと啓発活動としてのクロスロード研修や避難所運営ゲーム(HUG)を体験しました。国府小学校に設置された指定避難所防災倉庫を視察。

◎渡邊 英洋 ○盛 泰子
内山 泰宏 東 真生 副島 明
馬場 繁 山口 恭寿 松永 孝三

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会

本委員会に付託されました条例議案2件、補正予算議案4件、その他の議案2件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

民生費・衛生費

障がい児通所給付事業……………6,739千円

児童発達支援の利用者数の増加に伴い、当初見込みより扶助費等が不足するため増額補正を行うもの。こどもハートフルセンター「ひまわり園」の利用者増加の理由と利用状況について質疑があり、利用者については、24人から38人の増が見込まれ、要因としては、4か月健診や一歳児検診時での兆候の発見が早くなって、保護者の意識の変化もあるのではないかな等の説明があった。

私立保育園支援事業……………54,743千円

入園児の増加などに伴い、見込みより運営費負担金が不足するための増額。

現在、市内18園に1,382人、市外13園25人が通っている。0歳児、3歳児は減っているが、1、2歳児は400人増の見込みとなっている。

国1/2、県1/4、市1/4の負担割合

予防接種事業……………15,949千円

本年9月からの不活化ポリオワクチン接種に伴い、委託料等が不足するための増額補正。11月には4種混合の接種も開始されその不足に対応するため。

介護保険事業……………237,260千円

主な費用は、保険給付費の不足によるもので、主に居宅サービス給付事業が増えている。サービス事業者が増えていることもあるが、特に通所介護や短期宿泊サービスの利用増加が主である。

教育費

小学校施設管理事業……………3,518千円

大坪小学校の給水管改修工事や、山代西小学校図書室のエアコン移設と電源工事に伴い補正するため。

体育施設管理事業（射撃場排水処理装置設置）……………8,746千円

射撃場内外の回収済産業廃棄物の鉛溶出量検査の結果、基準値を超えたため、管理型埋立処分への変更に伴い、その運搬と処分にかかる費用として。（クレー、ワズ合わせて195トン）

また、射撃場周辺の水質検査において、場内一か所、場外一か所から基準値を超えたため、下流域に流れないように排水処理装置（ノックタンク）を設置する費用。他施設の鉛除去工事でも取り入れられており、入水と出水の比較では1/4程度の減少が証明されている等の説明があった。

条例議案

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

今回の税率改正では、医療分5.3%、後期高齢者支援分17.3%、介護保険分5.9%、全体で実質平均7.3%増の改定案が示されました。

生活への影響も大と認識し、慎重に審議がなされたところです。

説明では、本市の保険事業は医療費に見合う収入を確保できず、7億円近い赤字を抱えていること、今後高齢化に伴う医療費の増加と医療ニーズの多様化、拠出金等の増加により国保財政が赤字傾向にあることから、単年度収支が赤字にならない程度の税率改定の案が示された。

また課題となっている累積赤字の解消については、国保県広域化の年限が提示されるまで留保し、赤字の一部を計画的に一定金額、基金積み立てを行い精算していくことも提案された。

質疑では、前回の審議会答申での付帯意見の実施状況について、改定による収納率への影響、医療費抑制への対応と予防意識の啓発、累積赤字解消の方法、低所得者対策、国県のかかわりと加入者の特徴、収納対策の在り方等について意見が交わされました。審議の結果以下の意見を付けて可決しました。

★平成27年度収納率94%必達に向け鋭意取り組むこと

★基金の創設にあつては毎年一定額を必ず確保すること

★ジェネリック医薬品の周知と差額通知発行の検討

◎樋渡 雅純 ○福田 喜一
前田 久年 井手 清敏 梶山 太
多久島 繁 草野 讓 高木 久彦

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

付託されました条例議案8件、平成24年度伊万里市一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件、以上諸議案について、12月14日及び17日の産業建設常任委員会にて審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

主な審査内容・意見は次の通りです。

【条例議案】

・議案第94号 伊万里市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例制定について、議案第98号 伊万里市下水道条例の一部を改正する条例制定については、それぞれ平成25年度からの料金改正になりますが、その背景・趣旨、内容について十分な住民への事前説明がなされるよう要望しました。

【予算議案】

・地籍調査事業について、24年度は小黒川、塩屋、福田地区を取り組み、残りは黒塩と福田地区の一部です。25年度は波多津町の内野、煤屋地区を取り組む予定です。

地籍調査事業が進み 未調査地区も残りわずかとなったが、筆界未定を残さないよう事業に取り組んでいただきたい旨要望しました。

行政視察報告（11月12日～14日）

11月12～14日の3日間の日程で、北海道の農業実態について、産業建設委員会行政視察を行いました。

視察場所・テーマは、

1. 長沼町・長沼町議会
「グリーンツーリズム特区認定の取り組みについて」
 2. 岩見沢市・JAいわみざわ支所
「省力・多収・低コスト新水稻技術について」
 3. 浦臼町・有限会社神内ファーム21
「農業の企業化の取り組みについて」
- です。



・県の基金を活用しての緊急雇用創出基金事業については、追加で本年3月から、2事業で延べ14名の新規雇用が図られます。

雇用創出という観点から、短期雇用からさらに常用雇用の方向で検討を進められるよう要望しました。

（産業部より報告）

・この夏開催された伊万里ブランドフェアに引き続き、11月にも福岡市『レストラン・ヴァンティアン』で『秋の収穫祭』として開催され2,430名の来場があったと報告されました。今後もさらに伊万里の観光情報の発信が継続されます。

（建設部より報告）

・伊万里市空き家等の適正管理に関する条例については、9月議会において可決後、要望があった空き家等の実態調査の実施、施行までの取り扱い、審議会（第三者委員会）の設置等について検討を進めている旨、報告がなされました。

（水道部より報告）

・第4工業用水道事業貯水施設建設工事仲裁申請について、10月15日に国土交通省において第3回目の中央建設工事紛争審査会が開かれ、争点の整理について審議が行われ、次回は来年2月7日に開催予定との報告がなされました。

・さすが北の大地、想像を上回る北海道のスケールの大きさに感嘆するとともに、冬場は過酷な環境条件にもある中で、様々な工夫を重ねながらの営農活動に頭が下がる思いがした視察研修でした。

現地視察報告（12月14日）

12月14日 委員会審議に先立ち、伊万里市都市公園に追加される長浜勝田公園（東山代町）と、伊万里市公共下水道の浄化施設である浄化センター（二里町東八谷）の2箇所を現地視察しました。



◎松尾 雅宏 ○前田 和人
香月 孝夫 井手 勲 松尾 博幸
笠原 義久 占野 秀男 田中 啓三

防災・環境施設対策調査特別委員会

特別委員会報告

1. 伊万里市の防災行政について

(1) 佐賀県原子力防災訓練について

10月28日に「佐賀県原子力防災訓練」が実施されました。その後開かれた意見交換会において、風向きを考慮した避難経路等による避難訓練の必要性や訓練前に中止になった「緊急速報メール」による広報訓練の必要性などについて意見をのべたとの報告を受けました。また、伊万里市と武雄市の間で「災害応援協定」を締結したとの報告があり、協定書には、避難者の受け入れや支援に必要な人員の派遣及び資機材等の提供などが盛り込まれています。

(2) 九州電力との原子力安全協定について

県市長会、県町村会と九州電力は9月28日、原子力安全協定に関する協議を開始し、伊万里市からは「事前了解」を含めた立地自治体並みの協定内容を求めたとの報告を受けました。

(3) その他の動き

災害時における市民への情報伝達の整備に関する研究を進めるため、「伊万里市災害情報伝達システム研究会」が新たに設置されました。

2. 佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設について

(1) 事業用敷地造成工事請負契約について、工期の短縮を図るため、1工区は鹿島土木事務所管内、2工区は武雄土木事務所管内、3工区は伊万里土木事務所管内の落札業者（共同企業体）と総額にして8億1,405万8,700円の請負契約を締結することが決められています。また、ごみ処理施設建設工事請負契約の締結については、新日鉄住金エンジ・新明和特定建設共同企業体と契約金額139億1,250万円、竣工期限を平成27年9月30日とする内容で契約を締結することが決められています。

(2) 環境保全協定について、松浦町広域ごみ処理施設建設対策協議会と組合が行う環境保全対策や環境測定の義務化、損害賠償規定などを盛り込んだ内容で締結されることが決められています。

◎笠原 義久 ○副島 明
香月 孝夫 前田 和人
梶山 太 山口 恭寿 樋渡 雅純

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

待たれる全線開通（西九州自動車道）

平成26年度の山代IC（仮称）～今福IC（仮称）間の供用開始に向け順調に工事発注がなされ、工事進捗が図られています。

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の構成員として10月31日に国土交通省九州地方整備局へ、西九州自動車道の早期全線開通に向け要望活動を実施しています。

来年度に供用開始（港湾の整備）

平成25年度に供用開始を予定されている。マイナス13m岸壁の完成とガントリークレーンの設置により、伊万里港は2バースでの運用や大型船の入港が可能となるなど、今後国際コンテナターミナルとして大きな飛躍が期待されており、佐賀県伊万里港振興会を中心とした官民一体のポートセールスの必要性がさらに高まっています。

苦しい企業誘致

国内の経済情勢は依然として明るい兆しが見えず、市内企業も円高等の影響を受け、非常に厳しい状況が続いています。企業の海外

移転が続く中で国内への企業誘致を図ることは大変困難な事ではありますが、苦境の時こそチャンスと捉え、市民の雇用を確保するためにも、地道な企業誘致活動を続けられるよう要望しました。

現地視察

暫定2車線にて供用をされている伊万里湾大橋の上部工未施工箇所231mの現地調査を行ったところ、今年度より予算総額約15億円で、平成26年度完成を目標に工事が進められているとの説明がありました。

西九州自動車道については、伊万里松浦道路の山代IC（仮称）付近で施工中の打越地区改良工事及び浜嶋地区改良工事の現地調査を行いました。



伊万里湾大橋上部工未施工箇所

◎多久島 繁 ○松尾 博幸
井手 清敏 井手 勲
松尾 雅宏 高木 久彦 福田 喜一

平成23年度伊万里市企業会計決算審査特別委員会

本委員会に付託された平成23年度水道事業並びに工業用水道事業の決算認定について、11月1日及び2日の2日間にわたり委員会を開催し審査を行なった結果、次の意見要望を付し認定すべきものと決定しました。

1. 水道事業特別会計決算について

総収益12億3,221万2千円に対し総費用9億8,130万2千円で、収支差引2億5,091万円の純利益となり、前年度の純利益より3,224万4千円増加しており経営は安定していると言える。

意見要望

水道未普及の解消については、平成23年度に畑津・内野地区、岳坂・梅岩地区、炭山地区及びの野々頭地区の事業が完了し一定の進捗を見ているが、市内にはまだ未普及地区が存在しており、すべての市民が等しく安全な水を享受できるよう未普及地区解消に向けた早期の取組みを講じること。

また、水道料金未納者に対しては、給水停止措置などによって徴収成果はあがっているものの、水道料金は本事業の健全経営の根幹をなすものであり受益者負担の原則と公平性の観点から、未納者には個々の状況に応じた納付指導を行なうなど、その対策強化に努められるよう要望する。

主な質疑

- ・水道未普及地区解消の取組みについて
- ・水道料金徴収の強化について
- ・有収率の向上について

2. 工業用水道事業特別会計決算について

総収益6億3,679万2千円に対し、総費用9億7,385万7千円で、収支差引3億3,706万5千円の純損失となっている。

当年度未処理欠損金は、前年度繰越欠損金と合わせて8億1,785万7千円と大きく膨れ上がり、厳しい状況になっている。

意見要望

今日の世界的に極めて深刻な経済状況の中、各受水企業の業績の動向が本事業の経営に影響が及ぶことはやむを得ないところであるが、事業の経営健全化向け受水企業の水需要を把握し、事業の合理化や事務効率の向上に努められるよう要望する。

主な質疑

- ・第4工業用水道事業における起債償還について
- ・赤字決算、累積欠損金に対する執行部の認識について
- ・料金の妥当性について
- ・事業統合の考えについて

◎草野 譲 ○馬場 繁 前田 久年
前田 和人 井手 清敏 副島 明
山口 恭寿 笠原 義久 占野 秀男

平成23年度伊万里市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会

平成23年度一般会計並びに7特別会計決算認定について、11月1日より5日間にわたり委員会を開催し審査を行ないました。

1. 一般会計決算について

歳入総額234億1,118万7,240円、歳出総額228億4,311万545円で、5億5,278万2,695円の黒字となっている。市税においては税収が増加し、財政調整基金の取り壊しを行わず各種積立金を増額し、「第3次財政健全化計画」に沿って最小の経費で最大の効果が得られるようにとの努力が見られ、今後も財政健全化に向け更なる努力を望むものである。

歳入全般では、市税・保育料・住宅使用料の収入状況は、若干改善されているが、滞納については、正当に納入している人との公正さを欠くことから、滞納額の減少に向けた努力を要望する。今後は全庁的な連携によって収入率を上げる取組みが必要になってくると思われる。

歳出全般について、扶助費や人件費などの消費的経費が141億2,841万6千円で、構成比61.8%を占め22年度より7,959万6千円の増、普通建設事業費などの投資的経費は

22年度と比較して11億7,001万7千円減少となっている。

説明資料については、23年度より「主要な施策の成果に関する説明書」が事務事業ごとに列挙され、決算書との比較が容易になるなど大幅に改善がなされており大変評価できる。今後も更なる内容に努められたい。

2. 特別会計について

特別会計のうち、国民健康保険、立花台地開発事業、公共下水道及び農業集落排水事業の4会計が赤字決算となっている。国民健康保険特別会計については、収入総額63億6,820万5,629円に対し、歳出総額6億9,803万6,855円の赤字決算となっている。国保税の収入においては、インターネットによる差押品の公売により徴収努力もなされている。収入率の向上と滞納額の減少に向けて今後も努力していただくよう要望する。

◎松尾 博幸 ○松永 孝三 香月 孝夫
東 真生 井手 勲 梶山 太
多久島 繁 樋渡 雅純 渡邊 英洋

一 般 質 問 (質問順)

一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)原子力防災等について ①佐賀県原子力防災訓練の状況と課題 ②エリアメールの社会実験 ③避難所としての県立高校、支援学校のあり方 ④避難所における備蓄 ⑤九州電力との安全協定へ向けて	占野 秀男 (総括)	1. 有害鳥獣対策のための射撃場活用について 2. 広域ゴミ処理場建設に伴う入札のあり方について 3. 市営住宅の改修、建設計画について
	2. 子育て支援の充実へ向けて (1)留守家庭児童クラブ ①長期休暇中の状況 ②備品の状況 (2)ファミリーサポート事業の状況	田中 啓三 (一問一答)	1. 伊万里湾総合開発に関する社会資本整備について
	3. 住宅用火災警報器の設置状況	山口 恭寿 (一問一答)	1. いまりんバス運行について
梶山 太 (一問一答)	1. 教育行政について (1)武道必修化について (2)ICT活用について	井手 清敏 (一問一答)	1. スポーツ振興について 2. 第4工水について 3. 市長10年間の歩みと公約の達成度の自己評価は
	2. 消防行政について		1. 伊万里の農業政策について (1)伊万里市農業の現状と方向性 (2)就農支援について (3)有機農業の位置づけ
馬場 繁 (一問一答)	1. スポーツの振興について 2. 学校の環境整備について	前田 和人 (一問一答)	2. 伊万里地区高校野球・甲子園への道について (1)伊万里市にとって、甲子園出場の意味 (2)行政としての支援 (3)環境整備の問題
香月 孝夫 (一問一答)	1. 伊万里市地域防災計画（風水害）の状況について (1)認知状況 (2)監視・初動体制 (3)ゲリラ豪雨的な大雨の状況	松永 孝三 (一問一答)	1. 伊万里港（浦ノ崎地区）開発構想について 2. いじめ問題について 3. 生活保護事業について
	2. 本市におけるインターネット利活用について (1)情報発信等の在り方 (2)今後の取り組み		草野 讓 (一問一答)
	3. 人口減少について (1)減少の原因 (2)今後の人口予測 (3)人口増加施策 (4)人口減による税収に与える影響		
	4. まち猫対策について (1)苦情内容 (2)対応と対策		



一般質問

危機管理

盛 泰子

質問 10月28日に行われた県原子力防災訓練後の①課題、②備蓄の充実はどう考

答弁 総務部長

①担当者による意見交換会で、風向きを考慮した避難訓練の必要性や、直前に周知不足で県が中止した緊急速報メールの実施などを求めた。②これまでの備蓄に加え、事業者と協定を結

質問 九州電力との事前了解まで踏み込んだ安全協定について、9月議会答弁のように知事を頼らない考えであれば、議会と共に申し

答弁 市長

市長会での行動が不発に終わった場合は、伊万里市民の安心・安全のために議会と共に要請活動を、と考

えている。

留守家庭児童クラブ

質問 特に夏休みなどの長期休暇中の利用者が増えて

答弁 教育部長

その認識の下、今回の補正予算で豊の予算を計上。順次更新する計画。今後も指導員ときめ細やかな協議

住宅用火災警報器

質問 伊万里市は県内でも設置率は高い方だが、未設置の方に必要性を理解して

答弁 消防長

今年、市内で深夜の火災にも関わらず警報器の作動により2世帯8人が無事だった事例もあり、その効果は大きい。PRのためのDVDを職員が作成するなどして周知に努めたい。

教育行政について

梶山 太

質問 今、何故武道なのか。

答弁 教育部長

平成十八年改正の教育基本法において伝統や文化を基盤とし、国際社会に生きる日本人の育成。また、平成二十年学習指導要領の改訂において、生涯に渡り運動に親しむ心や能力を育てるために武道を必修化している。

質問 柔道競技の安全対策は。

答弁 教育部長

中学・高校での事故例が多いので、生徒には受け身の習得の徹底。指導者には講習や研修等により安全の意識を高めている。

質問 剣道形の取り組みについて。

回答 教育部長

現在、四校中三校が実践している。剣道の所作事や基礎的な礼儀や動作を学ぶことを目的としている。

質問 電子黒板について。

回答 教育部長

授業の必要な部分において電子黒板を活用していく。それ以外の時間帯は、現在の授業形態とし、今後も児童生徒の学力向上に取り組んでいく。

消防行政について

質問 伊万里・有田消防広域化協議会について。

回答 消防長

今年度四月の合意により設置され、これまで三回開催されている。今後も合併に向けて会議が予定されている。

質問 仮眠室について。

回答 消防長

現在の消防庁舎は、築三十七年を経過している。営繕工事については数回実施し、環境整備に努めている。仮眠室の個室化については、庁舎内で優先順位を決め、今後検討していきたい。



スポーツの振興について

馬場 繁

質問 ①県西部の総合体育館建設促進の取組状況は。

②市東部地区にスポーツ施設を建設する考えはないか。

答弁 教育部長

①平成3年から県立総合体育館建設を要望してきたが、県は既存の施設を整備してスポーツ振興を図っていく考えであり、平成19年度から要望していない。市単独での総合体育館建設は厳しい。

②市東部地区にスポーツ施設の必要性は認識しているが、現状では困難である。

学校の環境整備について

質問 ①東陵中学校の廊下や教室の塗装の劣化がひどく健康面への影響が懸念される。早急に改修すべきである。

②同校は本年度で開校20年を迎えたが、未だ通学路の整

一般質問

備ができていない。これまでの取組みと今後の計画は。③市の施策等に伴う関連事業が進んでいない。この関連事業は予算編成では枠配分外として扱うべきと考えるが。

答弁 教育部長

①現在、全体の約2割が改修済みであるが、これ以上塗膜の劣化が進行すれば生徒への影響も考えられるので、早く完了できるように取組みたい。

答弁 建設部長

②これまで提川・川西線の歩道整備に取り組み、平成23年度に松浦町提川橋まで完了した。今後は大川町川西地区の歩道整備を平成25年度から実施する計画である。

答弁 政策経営部長

③限られた財源での予算編成となり、各部署の事業計画を経営戦略会議においてその全てを精査し、実施に取組んでいる。

伊万里市地域防災計画（風水害）について

香月 孝夫

質問

①豪雨などにより災害発生が予想される場合の初動体制は。②河川の水位の状況把握、監視カメラ等の設備はあるのか。③市全域を対象とした「わがまち・わが家の防災マップ」内容や進捗状況は。

答弁 建設部長

①大雨注意報から職員が市役所に待機するなど、体制整備済み。②伊万里川や有田川も水位状況が伊万里土木事務所で見守られ、その情報は市役所でも把握できる。③市内全域、各地域に沿った防災マップを、来年2月頃から順次配布し運用予定である。

インターネット活用について

質問

①ホームページなどの利活用は。②ページ内、ビジュアル的（視覚的）な

強化は出来ないのか。

答弁 総務部長

①今後はインターネットの重要度が増し、効果的な情報発信を行う。②次年度更新時に、視覚効果を高め利用者のニーズにこたえていきたい。

人口減少について

質問

①人口減少のおもな原因は。②人口推移予測は。③減少による、税収への影響は。④人口増加施策は。

答弁 政策経営部長

①総務部長

②市長

①自然減によることが大きい。②伊万里市と比べると減少率は緩やかである。③第5次伊万里市総合計画では、平成29年54428人、平成34年51334人の人口予測 ※但し開発人口などは含まず。④税額に影響はあると考えている。⑤企業誘致を柱に、子育て支援充実などの環境整備を進めていきたい。

有害鳥獣対策に射撃場活用を

占野 秀男

質問

有害鳥獣による農作物の被害は年々増加している。駆除のお願いをしている「猟友会」も協力頂いているが、高齢化や後継者不足で苦慮されている上に、折角伊万里に射撃場があるのに利用できず佐賀や鳥栖まで練習や講習に出かけられている。

射撃場については有害鳥獣駆除の為に以前活用した事もあり、きちんと環境対策をすれば地元にもご理解頂けるのでは。活用を検討すべきと思うが。

答弁 市長

閉鎖していることもあり猟友会のご理解も頂いたので当面佐賀までの経費補助や免許取得補助等で対応したい。

広域環境施設の入札問題

質問 4市5町で組織する広域環境組合によるごみ処理場の事業が進んでいるが、本体工事の入札では参加業者が1社の為予定価格の99%で決定した。道路と敷地造成は85%から95%程度で落札しており、この例で行くと14億円から21億円の負担軽減が可能になる。やり方の工夫はできなかったのか。

答弁 市長

入札のやり方に問題はないうと思う。参加されなかったのは価格や技術に自信がなかったからではないか。負担軽減はありがたいことなので今後は十分検討していきたい。

市営住宅の改修、建設計画

質問

市営住宅入居希望者のうち46%しか入れないのは住宅政策の遅れではないか。改修とともに建設計画を立てるべきと思うが。

答弁 市長

改修は毎年実施している。市営住宅の新設は民間アパート等も増え考えていない。

一般質問

伊万里湾総合
開発に関する
社会資本整備

田中 啓三

質問 ①臨港道路七ツ島線の予算執行を図るため、国道204号バイパスの都市計画を急ぐべきである。

②伊万里港整備の全体構想を早期にまとめ、実施計画づくりに取り組み、国直轄事業による整備手法は考えられないのか。

③港湾道路の整備完了にあわせて、企業誘致を図るため、工業団地造成に取り組むべきと思うが、現在の経済状況と市の社会状況では、新たな工業団地の造成は厳しいため、浦ノ崎浚渫処分場と川南造船所跡地を国・県の事業制度等で工業団地として利用できないか。

答弁 ①政策経営部長

②③政策経営副部長

・建設部長

①臨港道路七ツ島線については、まずは204号の海側ルート都市計画変更

の決定を早期解決できるように地元理解を頂きながら県と協議を行っていききたい。

また、臨港道路七ツ島線の事業についても、延び延びになっっていることから、国・県に対し要請強化を行っていく。

②③伊万里湾整備計画については、22年度重点港湾指定、23年度日本海側拠点港選定を受けたことにより、今回、高坂政策経営部長が国土交通省から出向で来られ、伊万里湾の整備に向けた、全体構想策定について、庁舎内で協議を行っていき、今後は、伊万里市の提案として事業化に向け取り組み、国・県に対して要望をしていく。



いまりんバス
運行について

山口 恭寿

質問 いまりんバスの郊外線の利用が少ない。どのような決定過程で運行路を決めたのか。

答弁 政策経営部長

平成23年6月伊万里市民と市内バス事業者で伊万里市民と考える地域交通会議を開催、案を作成。平成24年1月各地区区長さん等に意見を伺い、平成24年4月地域交通会議で決定した。

質問 運行路決定過程はもつと十分に地元区長さん達と話し合いを行うべきだったと考える。大坪町の永山・屋敷野地区では毎朝保護者の方が小中学生を学校まで送り迎えを行っており、いまりんバスの運行を通学に合わせる事を要望されているが可能か。

答弁 政策経営部長
いろんな方が関係するもので調整がつけば可能。
学校・教育委員会で

は小中学生のバス通学に対する規定はあるのか。

答弁 教育部長

小学生の通学時のバスの利用に関して規定はない。中学生に関しては2キロ以上離れていけば問題はない。

質問 埼玉県ときがわ町（ハブバス停）や金沢市（バストリガー方式）など財源が厳しいなかサービスの低下させないために知恵を絞って住民の方の足を確保している。先進地の状況を調べ伊万里市も今後運行路の変更する必要があるのでは。

答弁 政策経営部長
1年ほどの実績をもとに検証し、来年の8月か9月に見直しを行いたい。

質問 誰もが満足できる運行路・ダイヤを作る事は不可能。しかし、今度は充分に住民の方と協議を行い、多くの方が納得出来る運行路とダイヤを作って欲しい。

答弁 市長
今がベストではないので変わる所は変えて行き、多くの方が使ってもらえるよう、集客増対策を今後検討していきたい。

スポーツ振興
について

井手 清敏

質問 スポーツ振興策の考え方はどうなのか。

答弁 教育長

スポーツは、人と人を繋ぎ地域と地域を繋ぐ、人の活力の源である。生涯スポーツの振興。競技スポーツの振興。施設整備の充実などの観点から、各種大会の開催。大会の誘致。見るスポーツの場づくりに力を入れていく。スポーツが盛んで、心身ともに健やかな、人と地域づくりに努める。

第四工業用水について

質問 第四工業用水の債務の返済と現状について。

答弁 水道部長

第四工業用水の主要なユーザーは、経営改善をされて、黒字を計上されている。タブレット関連など新たな事業に着手され、今後の事業の展開に期待したい。企業

一般質問

債の返済については、二分の一ずつ県と市に盛り込まれている。固定資産税、法人市民税など市税で支払っていく。工業用水の利用料金で支払うものではない。しかし、景気の回復に期待する。

市長の自己評価について

質問 市長の10年間の歩みと公約達成の自己評価は。

答弁 市長

総合計画をもとに、さわやか市政として頑張ってきた。市民アンケートも、90%以上の市民満足度を回答して頂いている。

タウンミーティングなどを開催し、市民の生の声を聞いてきた。財政状況の厳しい中に、多くの事業をやってきた。結果は歴史が判断するものだ。今後とも、初心を忘れずに、頑張りたい。

伊万里地区高校
野球・甲子園への道について

前田 和人

質問 伊万里市にとって地元高校の甲子園出場の意味・効果をどう見ているか。

答弁 教育部長

甲子園出場は、地域の一体感を醸成するとともに、地域の活性化、伊万里市のPRにも大きな貢献をすると思う。

質問 再び甲子園出場への道筋として、民間の取組みに加え、行政の支援も必須である。

強豪校招待試合の復活実施、高校野球を下支えする小中学校指導者講習会の実施、伊万里での各種大会の実施、大学・社会人チームの合宿誘致について、また、そのための国見台野球場の整備について、検討をお願いしたいと思うが。

答弁 市長

来年度からの組織として、甲子園プロジェクト係を立

ち上げ、目標達成に向けての目に見える形での諸施策を講じていきたい。

伊万里市農業の現状と方向性について

質問 伊万里市の基幹産業である農業を、伊万里市として今後どのように展開していくか。

答弁 産業部長

総合計画に基づいた担い手育成・確保や施設・設備整備への支援等、農村環境の整備等に努めていく。

質問 近年、より食の安全を求める農産物の生産として、減農薬・無農薬農法が注目されているが、市における有機農業の位置づけは。

答弁 産業部長

平成23年度から環境保全型農業直接支援対策事業を実施し、今後も農業の選択肢として、支援を継続していきたい。



伊万里港(浦ノ崎地区)開発構想について

松永 孝三

質問 ①川南造船所跡地の公園化の進捗状況について ②公園化に向けた官民の連携協力について ③公園化早期実現に向け、市長の考えは。

答弁 ①政策経営部長 ②副部長 ③市長

①浦ノ崎地区開発構想検討委員会を設置し、原案の作成を行ない国・県に対し具体的な提案が行なわれるよう取り組みを進めているところです。

②浦ノ崎地区の開発と一体的なものとして位置づけ地元関係者の皆様の声を聞きながら、検討を図ります。

③川南造船所跡地の活用は、廃棄物処理用地の土地利用に大きな影響をもつ、一体的に検討することが有効。市で策定している構想の精度を高めて国・県に提案でき

るよう進めてまいります。

いじめ問題について

質問 ①本市の「いじめ」の状況について ②教育委員会や学校の対応策について ③いじめ問題は社会全体で考えるべきでは。

答弁 ①②教育長 ③市長

①緊急調査の報告やその他の報告によると、小学校5件・中学校15件と報告がされています。

②子どもの主体的な参画による「いじめ問題」への促進する、学校・保護者・地域と力を合わせ取り組みます。

③学校や教育委員会だけの問題ではなく、学校・家庭・地域が一体となった、いじめのない思いやりの心あふれるまちづくりを目指していきたいと考えております。

新病院となつて9ヶ月、これまでの運営状況について

草野 讓

質問 2つの病院が統合するに当たり、様々に審議を行い、計画書を策定されました。

年次ごとの収支計画も立てておられますが、開院して6ヶ月間の収支の経過報告をお伺いします。

答弁 市長

4月から9月までの6ヶ月の収入合計は、約19億8千万円であり、収出合計は減価償却費を含め約17億6千万円となり約8千万円の赤字となっているが、ほぼ見込み通りなっている。

質問 病院事業の収支の大きな柱である、患者数の動向についてお伺いをします。計画では入院患者1日平均154人、外来患者1日平均350人と想定をされていますが、現状ではどうか。

答弁 市民部長

入院患者については、一日平均174人となつており計画を上回っている。外来患者については一日平均280人となっている。

重点港湾と拠点港の選定を国から受けた、その後の伊万里湾総合整備について

質問 今回の人事異動で国土交通省から着任された政策経営副部長にお尋ねします。

答弁 政策経営副部長

①伊万里湾の現状の感想は
②総合整備の今後の対策は

①可能性を秘めた天然の素晴らしい、これからの港であると思う。
②この事業は息の長い取り組みになる。県と相談しながら短期・中期の計画を早く策定する。

質問 この港湾は県の管理下にある。県も本市のように国へ人材派遣要請してはどうか。

答弁 市長

古川知事に熱く要請したい。

議会運営委員会

「議会運営委員会」では、これまでの議会運営を見直し、必要なものは改革するために、各会派から改革すべき内容について33項目の意見を出してもらい、一昨年の10月から月1回のペースで検討をしてきました。

その後現在の「議会要覧」の内容もすべて見直しましたが、従来通りがほとんどです。

その結果を6月議会中に一時集約としてまとめ、全議員に報告して、9月議会から実施するものと、今後も引き続き検討するものに整理しました。

9月議会から実施する内容

- 1、一般質問の持ち時間を「60分を目安に」から「75分以内」に変更。
- 2、各委員会の報告に、その委員会で出た主な意見を盛り込むこと。
- 3、決定した内容は文章化して全員への徹底を図る。

- 4、議員駐車場は廃止し、市民も利用できるようフリーにする。
- 5、希望する議員は「事務連絡」を携帯メールでも活用する。
- 6、意見書、決議などは「会派」から提出する。

これまでにまとめた1～6のほか、従来通りとするもの7項目についても9月議会から実施することを確認しています。

また、今後も引き続き検討するものとして、約20項目が残っていますが、引き続き「議会運営委員会」で検討し、まとまり次第議員全員に報告、実施をしていくことにしています。

◎占野 秀男 ○松永 孝三
東 真生 馬場 繁 草野 讓
渡邊 英洋 田中 啓三 盛 泰子

伊万里市議会のもう一つの顔「親睦会」

年4回の定例議会の「市長から提案された議案審議」や「一般市政に対する質問」などの議会活動のほか、地域における各種活動への参加、市への要望活動など結構多忙な毎日です。

議会活動とは別に、24名の議員間の友好親善のため、また好きな趣味を共に楽しむために「親睦会」があり、それぞれ活動がされています。



野球部 全員、監督：前田久年副議長

年1回の「県体協賛、市議会議員野球大会」に参加、AクラスとBクラスを行ったり来たりし、好プレー、珍プレーを楽しんでいます。



グラウンドゴルフクラブ

17名、会長：占野秀男議員

10年前に誕生し、年4回の議会後に大会を開き「まぐれ」のホールインワンに歓声を上げ、5打もかかって失笑しています。



ゴルフクラブ

7名、会長：田中啓三議員

古くから好きな仲間が楽しんでおり、シングルに近い人もおれば110前後の人もあり、反省会も盛り上がっています。



パソコンクラブ personal computer club

伊万里市議会 第二回 パソコンクラブ 2012年 7月 4日(水)

9名、会長：香月孝夫議員

平成23年の改選後に誕生し、若い議員を中心に研究し、意見交換を行っています。

議会以外の友好親善「親睦会」ですから、月会費1,000円から2,000円を徴収し、その他にかかった費用は個人負担で活動しています。

以前は、「囲碁」「釣り」「謡曲」「文化部」などのクラブもありましたが、現在は上記の4クラブが活動しています。

発行 伊万里市議会
伊万里市立花町一三五五一
00955-123-2594
00955-221-277
E-mail: gika@city.imari.jp

編集 市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社

・編集委員
◎松永 孝三 梶山 太
香月 孝夫 山口 恭寿
井手 勲 樋渡 雅純

・顧問
前田 久年 占野 秀男

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。12月は定例議会と衆議院議員総選挙が重なり、かなり厳しいスケジュールで下がつてしま票率が全国的に下がってしまつたようですが、皆様にもつと政治に興味を持って頂けると政治を担って行きたいと思っております。さて、今年には巳年。千支の中に蛇が入っていることに違和感を持っていましたが、祭祀の「祀」に「巳」が用いられているように、蛇は神格の代表的なものだそうです。日本では古来より蛇は金運にご利益があるとされており、今年こそは景気が上昇することを祈りたいものです。(山)